

陸上自衛隊今津駐屯地の 体制強化を求める意見書を可決しました

高島市には、陸上自衛隊今津駐屯地、航空自衛隊饗庭野分屯基地および中部方面最大の饗庭野演習場が所在し、明治19年に饗庭野が旧陸軍の演習場として使用されて以来、実に130年余の長きにわたる歴史を刻む中で、地域では両自衛隊への深い理解から、地元協力会が設置されるなど、自衛隊との密接な関係を築きながら今日に至っております。

そうした中、先の「防衛大綱」および「中期防衛力整備計画」の方針により、このほど第3戦車大隊が廃止され新たに第3偵察戦闘大隊が設置されたところですが、令和5年度中には第10戦車大隊の廃止が既に決定されており、これにより今津駐屯地として約180名の定員が減少する予定となっております。

こうした規模の縮小は、昨今の国際諸情勢への対応はもとより、本市の地域コミュニティや地域経済への影響、また、琵琶湖西岸断層帯などによる巨大地震や豪雪時の緊急派遣など、災害対応上の態勢が弱体化することに大きな危惧の念を抱かざるを得ません。

ついては、今後国におかれては、本市の実情をご賢察いただき、新たな「国家防衛戦略」や「防衛力整備計画」に基づき部隊配備や体制を具体化される段階においては、我が国の防衛警備上の要衝である今津駐屯地の部隊および人員体制の強化について、最大限の対応を講じていただくよう強く要望いたします。

以上の内容を可決し、地方自治法第99条の規定により、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、防衛大臣 あてに提出しました。

高島市議会
議会報告会

市民の皆さんとの意見交換会を開催

テーマ 「子ども・子育て」

出席者 42人 (市議会議員：18人、子ども・子育て事業関係者(子ども園・保育園、PTA、学校、子ども会、)学童保育、主任児童委員、保健師、結びと育ちの応援団、子ども食堂等の皆さん)：24人)

市議会では、市民に開かれた議会を推進するため、市民の皆さんの意見を聞く場として、令和5年1月26日、オンラインによる意見交換会を開催しました。6グループに分かれ、コロナが発育に与えている影響や、コロナ以降、さまざまな様式の変化で困ったことや変わったことなど、それぞれの現場で感じておられることや、現状、課題などをお聴かせいただきました。コロナ禍の行動制限により、地域とのつながりの減少や、人とのコミュニケーション能力の低下など、様々な影響が感じられる中で、学校や園での行事など、今までやってきたことの意味を見直し、感染防止対策をしながら、形を変えてでも実施できる工夫ができるようになったというご意見がありました。また、保育士不足の課題については、一層深刻な状況も改めてお伺いしました。参加いただいた関係者、団体、それぞれのお立場で、地域の子育てにご尽力いただいていることに感謝し、市議会として、今回いただいた貴重なご意見を今後の市政に反映できるよう努めるとともに、今後も調査、研究を進めていきます。



意見交換会の結果については、後日、市議会ホームページで公開しますので、是非ご確認ください。